

科目名	観光学概論A Introduction to Tourism A						
科目担当者	墨 昌芳 SUMI Masayoshi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	<p>人口減少・少子高齢化が進むわが国において、観光の果たすべき役割が注目されています。本講義では、「学問としての観光」を体系的に学習します。「おもてなし」といった観光に関わる基本的な事柄から始め、観光の国内外の歴史、観光の経済効果、日本の観光政策、諸外国の観光政策など、観光を考える上で習得すべき事柄についてきちんと学習します。講義スタイルは、板書およびスライドを利用したプレゼンテーションで、新聞や世界遺産などに関する TV 番組、あるいは雑誌やパンフレットの記事なども活用しながら解説していきます。また、観光に関わる様々なデータを示しながら、日本・世界の観光地の取り組みを紹介していきます。</p>						
授業の到達目標	<p>①観光産業の特性・重要性を理解する。 ②観光に関する知識を身に付け、観光が抱える問題に、自分自身で対策を考えることが出来る。 ③観光の経済効果を測定できる。</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス：観光を学ぶ意味、講義の概要					
	2	観光の定義、観光の語源、観光関連用語					
	3	観光の歴史					
	4	日本の観光の現状 (1)：インバウンドとアウトバウンド					
	5	日本の観光の現状 (2)：震災後の観光戦略					
	6	国際観光の動向 (1)：主要国の現状					
	7	国際観光の動向 (2)：主要国の観光政策の取り組み					
	8	観光マーケティング：観光需要と弾力性					
	9	観光産業の構成と特徴					
	10	観光の様々な効果 (1)：経済への波及効果					
	11	観光の様々な効果 (2)：観光と環境問題					
	12	観光とビジネス (1)：旅行業、宿泊業、テーマパーク					
	13	観光とビジネス (2)：LCC の参入					
	14	観光地の現状 (1)：温泉地の現状					
	15	観光地の現状 (2) 九州における観光圏の形成					
授業外学修 (事前学修)							
授業外学修 (事後学修)	<p>授業内容について分からない点などを復習し、不明点を調べておく (毎週 2 時間程度、合計 30 時間) 課題を作成する (30 時間程度)</p>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	定期試験				50%	①、②、③	
課題の提出				30%	①、②、③		
授業中の小テスト				20%	①、②、③		
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	教科書は特に使用しない。教材を必要に応じて (ほぼ毎週) 配布する。また、必要に応じて新聞や雑誌の記事、あるいは論文等を配布する。						
参考文献	<p>国土交通省観光庁『令和 5 年版 観光白書』日経印刷 (上記の観光白書は、国土交通省のホームページ上から全文無料で入手可能) 山下晋司『観光学キーワード』有斐閣 中尾清・浦達雄『観光学入門』晃洋書房</p>						
その他	<どのような学生の受講が望ましいのか> 観光に興味がある学生 観光産業に就職を考えている学生						